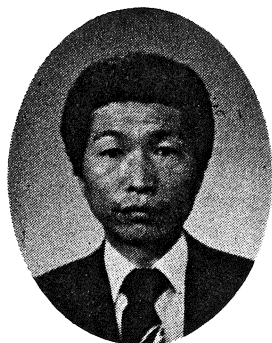


NO.1

発行所 一心通信建設株式会社
福山市神村町字東竹5330番地の1
TEL (08485) 3-1723
印刷所 株式会社 愛 広

isshin tsushin

一心



創刊にあたって!

やるということ

真田惣行会長

創立13周年、現在のこの厳しい状況下で、新社屋の建築に着手、加えて社内報の発行と続く喜びを先ず皆様と共に、分かち会いたいと思います。

さて、この様な我が社の環境の中で、私の脳裏に現在行き来するのは「力を合わせれば、それなりの結果は出るものだ」というごく当り前の事を「真」に知ったということと、ズバリ「不安」そのものであります。

「力を合わせれば結果が出る」というのは当り前です。しかし大切な事はやって見なければ「肌で感じる事が出来ない」という事なのです。およそ人間の五感についてはすべからくこれを肌で感じていますから、我々はそのすべてを「真」に知っていると言えるでしょう。美味しいとか、寒いとか、楽しい等々です。しかし、心の中で強く感じる事となると果してどうでしょうか。……? 楽しさ、苦しさ、悲しさ等、言葉では表わせますが、その自分の行為によつての、それは、千差万別と言えます。何故なら、私がこの13年間を振り返って「とても楽しい事多い13年間でした」と言つても、皆様にどの程度理解できるでしょうか。又「とても苦しい13年間でした」といつても……? どんなに詳しく、その楽しさや苦しさを話してもおそらく、他人にはあくまでも「説明」に過ぎません。「解かったような気がする」という事にとどまるのです。ましてやその楽しさや、苦しきの微妙な程度までの理解に至つては、まず不可能と言えましょう。

まさに「行為者(やった者)のみが知る」なのです。このような意味において、まず何はともあれ「積極的にやる」という事の重要性を感じる今日今頃であります。力を合わせて成功した時の喜び、失敗した時の惨めさを味わつてこそ「それなりの結果」であつたと言えるでしょう。

そこでもうひとつ「不安」も感じます。この事も「やれば結果が出る」事を知つたからこそ、心の底に起つて来るといえます。

今日の結果が出たのは力を合わせた中に、努力や運というものが深く係り合っています。

現在の様にテンポの早い時代になつても、今迄のようなパターンで良いのだろうか? まして、仕事量は減つて行くといわれている昨今、このままではだめであろう。新しい分野を開発しても皆んな協力してくれるだろうか? 等等、考えれば考える程、不安は広がっていきます。

が、しかし、私はいつもここで又、元の考えに帰つてしまうのです。それは、やはり「行為者(やった者)のみが知る」なのです。やらなければ、何も感じる事なくそれで終りになるのです。

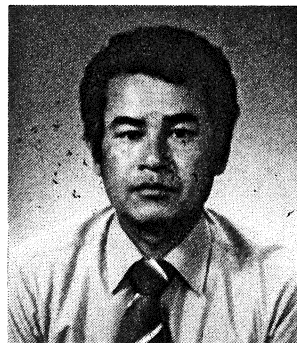
「やる」ことの意義を教つて下さつた我が社の皆様に紙上を拝借し、長年の御礼を申し上げます。又、関連の親会社である広島建設工業㈱をはじめ、国鉄、中電工㈱の皆様方にも厚く感謝いたします。

我が一心通信建設の皆さん、今後共、理性を持って積極的にやりましょう。

展望!

会社はなぜ儲けなければならないか

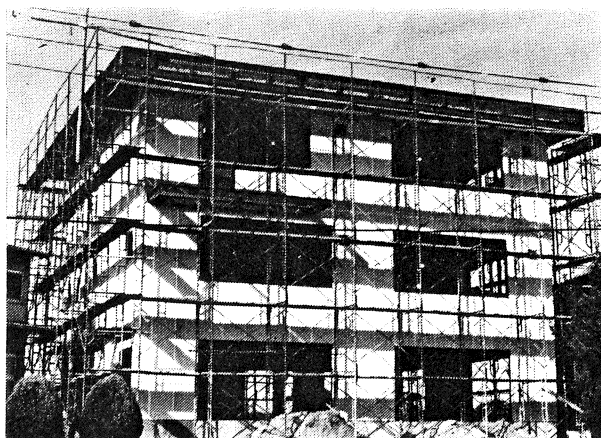
田中 邑志 社長



我が社の第1回社内報の発行に当たり「会社はなぜ儲けなければならないか」というテーマで、日頃私が考えていることを述べてみることにしました。

我々中小企業は、誠に厳しい作業環境の中で常に前進を続けていかななくてはならないことは、皆様もよくご承知のことと思います。従って現実の仕事に対しては、非常に無理に無理を重ねなければならないと言った過酷な条件の中で作業をしているのが実状だと思います。この様な作業環境の中でも、やる気を起し、又自分自身の技術向上の為、日夜努力する社員が多ければ多い程会社は発展することは言うまでもございません。過酷な現状の中でも、やる気を起こす根源は何であるのでしょうか。それは「自分の為」「我々の為に頑張るのだ」と言った卒直でしかも単純な考え方ではないでしょうか。世の中の為とか、社会に奉仕するとか、会社発展の為にとかといった飾り気のある考え方では決してやる気は生れないと思います。従って「会社はなぜ儲けなければならないか」と言うことは「我々の為に儲けなければならないのだ」と言うことこそ、私が最も皆様方に求めている純粋な気持であります。実際問題として、この様な考え方こそ、心の底から馬力を出し、仕事に挑戦し、フルに働くことが出来るのではないのでしょうか。会社は生きた人間の集団であります。生きた人間のやる気を起こすものは「我々の為に儲けなければならないのだ」と言う「泥臭い人間的」な考え方になってこそ可能と思うのであります。その上で会社と共に働き、共に苦しみ抜いていく仲間意識に根ざす強力なチームワークの結集と、会社の組織力とにより初めて業績を上げることが出来るものと確信致しております。

最後に重ねて申しますが、我々の明日への幸せを願う「我々の為に頑張るのだ」と言う気持を日々持ち続け、「安全」「良品質」そして「高効率」のこの三点を常に留意して今後の作業に取り組んでもらいたいと思います。



(新社屋6月中旬完成予定)

自動車販売修理 ウエオカ自動車工業

代表者 上岡 浩
〒720 福山市西神島町259-1
電話 (0849) 51-3541

日新火災海上保険株式会社代理店 安部保険コンサルタント

福山市入船町2-8-3
電話 (0849) 22-2129
福山市神村町2-2-9-3
電話 (08485) 3-3655

我が社の歩み

常務 忠 田 光

我が社は、昭和45年3月16日に創立。現在14年目に入った。第1回の社内報を発行するにあたり、我が社の歩みを、振り返ってみよう。

初代社長に就任したのは、真田会長で総勢10名。資本金200万円でスタートした。当時、事務所はなく唯一福山市在住だった、井上氏宅を、登記上の本社とした。事務所もなく、金もなく、人も少ない、ないないづくしの中で、只あるのは、目標に向かって燃える心意気と、キラリと光る技術であった。

現在の土地を購入するとの、目標を決めるや、朝7時から夜の8時、9時迄働き、購入資金を調達した。今ではそんな無茶は出来ないが、心を一つにして成し遂げる気持は、今後も持続したい。そして昭和45年8月、待望の社屋が完成し、感激を新たにしたのである。

昭和48、49年のオイルショックにもめげず、着実に業績を伸ばしてきた。昭和50年12月、真田社長が会長に、野村取締役が第2代の社長に、それぞれ就任。この年売上が初めて、1億円を突破した。

昭和52年10月、現在の田中社長が第3代の社長に就任。川重専務、忠田常務、新谷取締役、大村取締役、井上監査役の体制も整い、現在に至る。

昭和54年1月、中国電気工事協会の認定会社に、同年6月、日本国有鉄道の認定会社に、相次いでなる。

現在、社の状況は売上4億円、資本金1千万円、社員50名、協力業者10社、総勢120名である。

役員 の 紹 介



取締役会長 真田 惣行

三原市出身。昭和21年9月6日生まれの36歳。交友は各界にまたがり幅広い。趣味は読書。先見の明がキラリと光るトップオーナー。今まさにエンジン全開。



代表取締役 田中 邑志

福山市出身。昭和22年1月3日生まれの36歳。趣味多彩、その中でも釣りやゴルフ

(H-19)は双壁。性格は明朗にしてらい落、決断力に富んだ行動派。



専務取締役 川重 孝幸

佐伯郡出身。昭和21年11月4日生まれの36歳。野球はカーブ、カーブは川重。勝っても負けても変わらぬ応援、静かなる熱血のカーブファン。“ミスター心”



常務取締役 忠田 光

広島市出身。昭和17年8月20日生まれの40歳。趣味は学生時代からの山登り。山男、

山に登れず(仕事多忙か、それとも歳?)最近健康維持にと軟式テニスを始める。家庭思いの2児の父親。



常務取締役(経理担当) 新谷 保則

尾道市出身。昭和4年2月17日生まれ54歳。昭和47年電電公社より一心へ。根っからの経理マン。趣味は古美術鑑賞と囲碁、まさに渋味。奥さんも元電電ウーマン。一人っ子の由美子さんは目に入れても痛くない存在。



取締役(電話工事担当) 大村 正春

安芸郡出身。昭和23年3月20日生まれ35歳。豊かな経験に海外(イラク)での体験も加わってスケール拡大。後輩からの信頼も厚い職場のリードオフマン。



監査役 井上 俊三

福山市出身。昭和21年4月19日生まれ37歳。学生時代に鍛えた足、腰は今も健在。年老いた両親を気遣う心優しきスポーツ万能の3児の父。

三菱自動車指定工場

高橋自販株式会社

福山市神村町5213の1
TEL松永 (08485) 2-4805

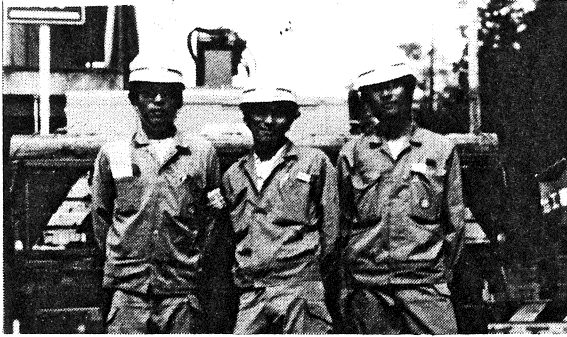
総合金物・陶磁器・ガラス製品

浦上金物店

福山市今津町土手103
TEL松永 (08485) 2-2839

職場だより

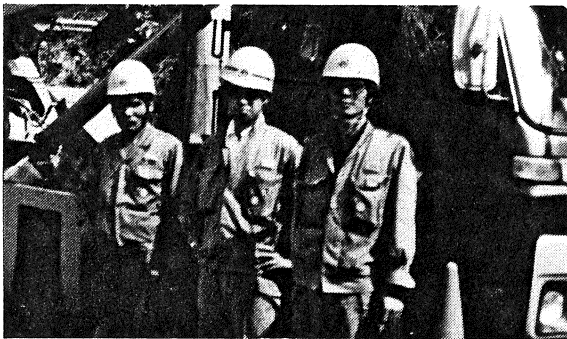
因島編



宗盛班のみなさん



渡辺班のみなさん



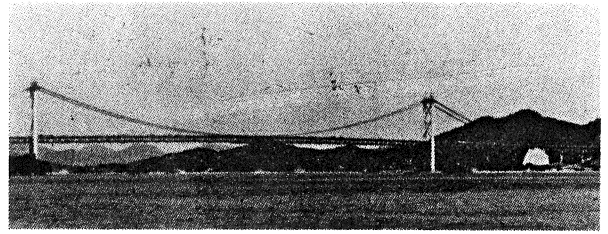
頼永班のみなさん



試験の時本さん



事務の田中さん



* 宗盛班 (因島大橋)

人員構成(写真左より)宗盛主任長, 佐藤, 桑田。

工事名。因島, 瀬戸田整備取替工事。

班長より一言。交通の激しく, 危険な場所での作業です。一般の方に迷惑のかからないよう, 無事故(工事の無事故は勿論)で作業を完遂して行きたいと思えます。又, 今から暑くなるので健康管理に充分気を付けて, ベストで頑張りたいと思えます。最後に, 我が班のモットー“チームワーク第一”。

* 渡辺班

人員構成(写真左より)渡辺主任長, 小江, 大内。

工事名。因島局単契工事。

班長より一言。安全面に厳しい今日この頃ですが, 我が班は一人一人が緊張して頑張っています。そして「一心社員」の名に恥じないように, 努力していきたく思っております。

* 頼永班

人員構成(写真左より)月岡, 頼永班長, 池田。

工事名。因島, 瀬戸田整備取替工事。

班長より一言。我が班は神出鬼没。北へ南へと現場を飛び回っています。それだけに何事にも適応できるよう, 普段から心がけ努力しています。「難しい仕事は我が班に」との気概でやっています。

* 工事試験担当

時本さん(写真左)

一言。待望の「愛の結晶」が出来ました。女性として, もっとも気の引きしめる「時」を, 充実して送っています。

* 事務担当

田中さん(写真右)

一言。家庭的な雰囲気毎日で楽しくやっています。優秀な人ばかりなので(ウッフッフ)どんどん仕事はかどっています。

車は快適……



カガヌ ガソリン

日ノ丸石油(株)

松永給油所 福山市神村町国道筋
TEL 松永 (08485) 2-2117(代)

バックホー展示場 新製品

丸島産業株式会社

展示場 福山市明神町 ☎31-5371
尾道市栗柄西2丁目 ☎22-6191

協力会社

紹介

東広通信株式会社

当社は一心通信の兄弟会社として、宅内工事を専門としており、組織は次の様になっています。

役員—真田会長，高山社長，石井専務，田中監査役。

社員—高尾，小田，清木，河内，大平，高橋，大塚（事務）。

系列—古城班～古城，森脇，時本，藤井。真田班～真田，寺迫。浜野班～浜野，吉原，西奥。森班～森，前本。合計22名のスタッフで頑張っております。

当社は非常に若い人材で構成されていますので、時として皆様に御迷惑をかける事があると思っておりますが、御指導の程宜敷くお願い致します。

尚，7月より，一心通信より，名実ともに独立して新たな旅立ちをすることになっておりますので，皆様方の絶大なる御協力をお願い申し上げます。

“1983”は，東広通信の飛躍の年

（高山勝彦記）

新和通信有限会社

昭和50年5月21日，一心通信の協力業者（個人）として出発。

昭和51年7月1日，新和通信有限会社と法人化する。

社員数 4名。（小泉，谷保，高木，戸川）

電話工事の接続が主力。技術力は一心グループはいうに及ばず，広建全体でもトップクラスと自負しております。又，工事試験も出来ますので「切替工事は新和通信」と言われる迄の信頼を得ていると確信しております。

今後，電柱ケーブル新設撤去，切替等が全部こなせる事を目標に，一段と皆様に可愛がられる会社にしてまいりたいと思います。

（小泉正二記）

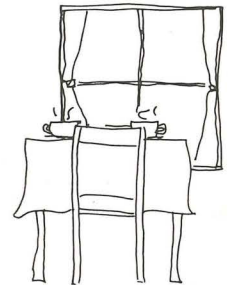
一級建築士事務所 山本建築事務所

当事務所は57年6月，一心通信建設グループとして（個人で）出発し，建築関係の設計監理及び各官公庁の完成図書作成（トレース）を業務としております。

人員としては現在，山本千歳，藤岡稔，三宅礼子，以上3名です。その他にも現在6名を外注トレーサーとして養成致しており，このメンバーがプロのトレーサーとして活躍出来る様になれば，トレース業務は安定すると思えます。設計業務としては，この不況時期のもと仕事確保に頑張っております。又，スローガンも「リラックスと厳しさ」と掲げ，一層の飛躍を期しております。

真田会長とは高校時代（三原工業）から兄弟同様の付き合いをしており，当事務所としても，一心通信建設グループの一員として「一心」の名前を汚す事なき様，所員一同頑張る所存ですので皆様の御指導の程，宜しくお願い致します。

（山本千歳記）



プロフィール その1

顧問弁護士

中本和洋先生



三原市出身 昭和21年11月13日生まれの36歳。学歴 京都大学卒業。京都大学大学院工学研究修士課程修了。

趣味 スポーツ観戦一般，ゴルフ，水泳，剣道五段。家族 妻，長女（10），長男（5），次男（1）コメント 真田会長とは，小学校時代からの盟友です。事務所は大阪で少し遠いですが，月に一度は福山に行く予定ですから，気楽に何でも御相談下さい。

土木建設機械 リース・販売・修理

成 和 建 機

尾道市高須町西新涯5602番地
TEL (0848) 46-4746

●幸せを運ぶ……

中央交通 が安全、迅速、快適に
あなたを御送りします

タクシー・寝台車御利用の方は2-4181へ

松永なら ヨイハイヤ ●松永 ☎(08485) 2-4181
●津之郷 ☎(0849) 51-4181
●福山 ☎(0849) 31-4181
●浦崎 ☎(084873) 2506

2-4181